



野球YouTuber
クーニン出場！！



国内外のプロ野球経験者
現役プロ野球選手が集まる

野球YouTuber「クーニン」
率いる強豪軟式野球チーム

第10回東日本大震災復興支援 チャリティーマッチ

at サーティーフォー相模原球場

12/5(土)

開場 9:30 試合開始 11:00

入場料 500円(小学生以上)

(入場料は今後の支援活動に使わせていただきます。)

共催 一般社団法人 オールネーションズ
[TEL:050-5276-2167]
[MAIL:weareballone@outlook.com]
公益財団法人 相模原市まち・みどり公社

後援 相模原市教育委員会



ALL NATIONS公式HP

f : @All Nations Baseball

i : @weareballone

※当時は、試合終了後に野球教室など参加型のイベントやグッズの販売・展示も行います。(野球教室は用具持参で、事前の申し込みが必要です。)



主催者から皆様へ

ご来場の皆様、こんにちは。

本日は「All Nations」が主催します、“第10回東日本大震災復興支援チャリティーマッチ”にお越し下さいまして、誠にありがとうございます。

2011年3月11日に東北沖で起きた東日本大震災から9年以上が経ちますが、復興までにはまだまだ多くの労力と時間を必要とする現状があります。被災地では今も尚、復興へ向けての戦いが日々続いている状況です。そこで、私たち「All Nations」は、「野球人が集まり、野球人だからこそ出来る事で恩返しをしよう」との決意から多くの野球関係者の協力の下で9年前に初のチャリティーマッチを河川敷のグランドから開始しました。

そして今年、第10回目となるチャリティーマッチを開催致します。今回多くの方々から更なるご支援、ご協力を得ることが出来ました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。このチャリティーマッチが震災を風化させないためのきっかけになるように、また復興の一端を担う活動になれば幸いです。それでは皆様、今日一日をぜひお楽しみ下さい。

ALL NATIONS

代表 三好 貴士

「All Nations」について

「All Nations」は【We are (B)all one ! [ボール一つから繋がる奇跡】】を合い言葉に、国籍や人種を超えて野球をこよなく愛するメンバー達が結成したチームです。

「All Nations」の所属選手は日本だけでなく、アメリカ・カナダ・オーストラリア・メキシコ・ドイツ・チェコ・フランス・オランダ・オーストリア・韓国・台湾・中国など海外各国でグローバルに活躍をしています。現役の国内外プロ野球選手や監督・コーチ陣による野球教室の開催やチャリティーマッチを通じて、野球を身近に感じて頂く活動をこれからも継続していきます。

<https://anbb2011.com/about-organization/> (オールネーションズメンバー профиール)

Official Website/Instagram/Facebook Page

<https://anbb2011.com/>

<https://www.instagram.com/weareballone/>

<https://www.facebook.com/weareballone>



協賛企業、団体様

根鈴道場、吉田商事、IBリーダーズ、株式会社 Hot Corner、上溝南野球部、LTS 野球教室、ピーエスエス有限会社、株式会社 BMI、株式会社 チェリオコーポレーション、みかん箱、B.B.CLOVERS、関東審判倶楽部、麺屋パンドラ、読売センター交野南

(企業名、団体名は順不同で表記しております)

チャリティーマッチ スケジュール

■9:30～10:00

- 開場
- ウォーミングアップ/ゲーム前練習

■10:20～10:55

- 「All Nations」代表・三好貴士による開会の挨拶、チャリティーマッチの趣旨説明
- 相模原市教育委員会代表者様からの挨拶
- 両チーム選手紹介
- 国家斉唱
- 協賛企業様等紹介
- 始球式

■11:00～

- チャリティーマッチプレイボール(最大3時間)
- 選手達が初回ポジションに着く際、ボールをスタンドに投げ入れます。

■14:00～(チャリティーマッチ終了後)

- 「All Nations」×「クーニング」による野球教室

■16:00～

- サイン会、ファン交流会(グラウンドにてお客様と選手達との交流の時間になります)
- 閉会

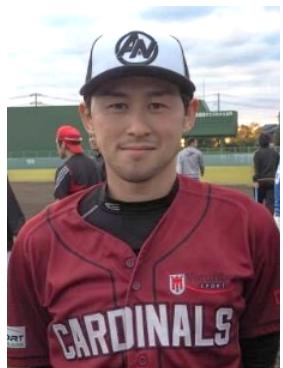
「All Nations」の監督・選手紹介



■監督 三好 貴士(みよし たかし)

「All Nations」代表。ミネソタ・ツインズ傘下、ガルフコーストリーグ・ツインズ監督。日本、アメリカ、カナダ、オーストラリアにてプレー。その後2009年にダレル・エバンス(メジャー通算21年間プレー)の下、アメリカのプロ野球にてコーチを務めた。2015年は NPB(日本プロ野球)を経験せずにアメリカのプロ野球にて初の日本人監督となった。2018年からは米メジャーリーグ、ミネソタ・ツインズ傘下のマイナーリーグのコーチに就任。ツインズ史上初の日本人指導者となった。アメリカプロ野球において12年間に渡り選手指導をした異色の経歴を持つ。

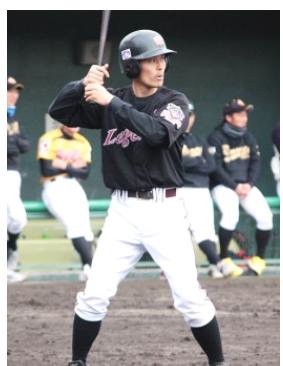
【Official Web Site】「We are Baseballers!! <http://wabb26.com/>」



■外野手 田久保 賢植(たくぼ けんしょく)

「All Nations」副代表にしてイベント運営をこなす。2015年シーズンはヨーロッパのチェコ共和国にてプレー。またオーストリア代表の3塁コーチも務めている。2014年は同国でU21代表の3塁コーチを務めるだけでなく、選手としてもフェルトキルヒ・カージナルスにて活躍。アメリカのプロ野球を始めとし、カナダ、オーストラリア、チェコ、韓国など各国でプレー。チェコエクストラリーガ(チェコ)では日本人選手として初となるプロ契約を果たすなど、異色の経歴を誇るインターナショナルプレーヤー。

【Official Web site】「<https://takubokenshoku.com>」



■コーチ 清水 広貴(しみず ひろたか)

アメリカ、カナダ、オーストリアにてプレー経験を持ち、中国プロ野球では日本人初の野手として四川ドラゴンズにてプレーした経歴を持つ。

【歴代所属チーム】

和信ホエールズ(練習生)/サスカチューン・レジェンズ/サーファーズパラダイス/
四川ドラゴンズ/アルパイン・カウボーイズ(練習生)



■コーチ 萩島 賢(はぎしま けん)

社会人野球 FeDEX の監督を務めた。現役時代は神奈川県の強豪桐蔭学園で甲子園に出場し、大学では25本塁打を放つなど活躍した。

【歴代所属チーム】

FeDEX(監督)/獨協大学(コーチ)/小西酒造/獨協大学/桐蔭学園



■投 手 小林 雅英(こばやし まさひで)

日米通算228セーブを挙げた、日本を代表するクローザー。千葉ロッテマリーンズ時代には「幕張の防波堤」の異名を取り、絶対的な守護神として君臨した。その後はMLBクリーブランド・インディアンスにも移籍、プレーしている。

【歴代所属チーム】

クリーブランド・インディアンス/千葉ロッテマリーンズ/読売ジャイアンツ/
オリックス・バッファローズ/東京ガス/日本体育大学

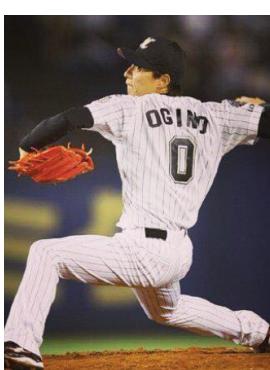


■投 手 藤田 宗一(ふじた そういち)

千葉ロッテマリーンズの中継ぎエースとして長く活躍した。入団から5年連続50試合以上登板し「鉄腕」と呼ばれた。2006年のWBCでは、貴重な左の中継ぎ投手として、日本の世界一に貢献した。

【歴代所属チーム】

千葉ロッテマリーンズ/読売ジャイアンツ/福岡ソフトバンクホークス/西濃運輸



■投 手 萩野 忠寛(おぎの ただひろ)

千葉ロッテマリーンズや社会人野球の日立製作所などでプレー。千葉ロッテ時代はクローザーとしても活躍している。小柄な体からは想像もできない大胆なフォームでキレの良い球を投げ込む投手。

【歴代所属チーム】

千葉ロッテマリーンズ/日立製作所硬式野球部/神奈川大学



■投 手 北川 智規(きたがわ とものり)

オリックス・ブルーウェーブで4年間活躍した投手。大学は一浪して横浜国立大学に入学。大学日本代表にも選ばれた。

【歴代所属チーム】

オリックス・ブルーウェーブ/横浜国立大学/川越高校/



■投 手 山本 淳(やまもと じゅん)

西武ライオンズで主に中継ぎとして4年間プレーした後、社会人野球の日立製作所でプレー。都市対抗にも出場し活躍した。

【歴代所属チーム】

埼玉西武ライオンズ/日立製作所/TDK千曲川/国際武道大学/東海大相模高



■投 手 西嶋 一記(にしじま かずき)

明治大学で活躍後、MLB ロサンゼルス・ドジャースと契約。マイナーリーグでプレー後、日本の社会人野球でもプレー。

【歴代所属チーム】

オグデン・ラピュターズ(ロサンゼルス・ドジャース傘下)/富士重工業/
熊本ゴールデンラーク/明治大学/横浜高校



■投 手 星野 真澄(ほしの ますみ)

BC リーグ信濃グランセローズから読売ジャイアンツに入団、プレーした投手。左のワンポイントとして1軍でも活躍した。スリークウォーター気味のフォームから多彩な変化球を投げ込む。

【歴代所属チーム】

読売ジャイアンツ/GOLD GYM BASEBALL CLUB/信濃グランセローズ/
バイタルネット/愛知工業大学/埼玉栄高校



■投 手 島内 博史(しまうち ひろし)

上宮高校時代には甲子園出場、その後天理大学に進学し、卒業後に社会人野球のミキハウスに所属する。ミキハウス退団後はカナダの初のプロ野球リーグに所属したトロワリビエール・セインツにてプレーした経験を持つ。

【歴代所属チーム】

トロワリビエール・セインツ/ミキハウス/天理大学/上宮高校



■投 手 大島 崇仁(おおしま みつひと)

プロ野球独立リーグ、社会人野球、大学野球など多くのカテゴリーでプレーした経験を持つ。アンダースローから放たれる様々な球種を武器に、先発から中継ぎ、抑えまでどのポジションでも活躍した。

【歴代所属チーム】

サウザンリーフ市原/三重スリーアローズ/神戸ナインクルーズ/ワイテックなど



■捕 手 橋本 将(はしもと たすく)

2005年千葉ロッテマリーンズの中心選手として31年ぶりの日本一に輝いた。勝負強い打撃で長く一線で活躍した。

【歴代所属チーム】

千葉ロッテマリーンズ/横浜ベイスターズ/宇和島東高校



■捕 手 松下 一郎(まつした いちろう)

2010年にプロ野球ドラフト会議で横浜ベイスターズより育成1位指名を受ける。3年間横浜ベイスターズにてプレーした経験を持つ。

【歴代所属チーム】

横浜 DeNA ベイスターズ/関西外国語大学



■内野手 肥田 貢次(ひだ こうじ)

守備に定評があり、アメリカで参加したスカウトリーグではトロント・ブルージェイズにて監督を務めたティム・ジョンソンもその職人級の守備力を認めたほど。日本のプロ野球独立リーグであるBCリーグで活躍した。

【歴代所属チーム】

群馬ダイヤモンドペガサス/パームスプリングス・パワーズ/上武大学



■内野手 安田 裕希(やすだ ゆうき)

2018年は米プロ野球独立リーグの最高峰リーグのアトランティックリーグでプレーした。過去には2015年シーズンの所属リーグで打率.307を記録し、リーグが選出するゴールドグラブ賞を獲得するなどチームの中心選手として活躍した。2019年はカナダでプレー、活躍した現役の選手。

【歴代所属チーム】

サザンメリーランド・ブルークラブス/ピッツバーグ・ダイヤモンズ/
ソノマ・ストンパーズ/ダグラス・ディアブロス/ラスクルーセス・ヴァッケロスなど



■内野手 東 良暁(ひがし よしあき)

2020年BCリーグに新規参入し、BCリーグチャンピオンに輝いた神奈川フューチャードリームスのレギュラー選手として活躍。

【歴代所属チーム】

神奈川フューチャードリームス/富山 GRN サンダーバーズ/
信越硬式野球クラブ/日本大学国際関係学部/東海大高輪台高校



■内野手 中村 太一(なかむら たいち)

2020年アメリカ独立リーグの一つであるペコスリーグのロズウェル・インベーダーズで活躍した内野手。競争の激しいアメリカ独立リーグで1シーズンプレータイムを勝ち残った。

【歴代所属チーム】

ロズウェル・インベーダーズ/パームスプリングスパワー/
明星大学/帝京第三高校



■内野手 岡村 秀 (おかむら しゅう)

青森県の野球名門校、青森山田高校でプレーした後、WBC 中国代表でプレー。力強い打撃が持ち味。

【歴代所属チーム】

WBC 中国代表/青森山田高校



■外野手 中村 一生 (なかむら いっせい)

中日ドラゴンズやオリックス・バッファローズで活躍した外野手。高い身体能力を生かした守備力が持ち味で、NPB で 12 年間プレーした。

【歴代所属チーム】

オリックス・バッファローズ/中日ドラゴンズ/国際武道大学/東海大浦安高校



■外野手 井野口 祐介 (いのぐち ゆうすけ)

群馬ダイヤモンドペガザスで長らく活躍するベテラン選手。アメリカ独立リーグやメキシコでもプレーした。

【歴代所属チーム】

群馬ダイヤモンドペガザス/スーシティ・エクスプロアーズ/武蔵ヒートベアーズ/NTT 西日本/法政大学



■外野手 奈良 雄飛 (なら ゆうと)

名門法政大学から社会人野球 NTT 西日本に進み、2016 年より BC リーグに入団し、武蔵・福島ではチームの中心打者として活躍。2020 年から BC リーグに新規参入する神奈川フューチャードリームスに移籍。

【歴代所属チーム】

神奈川フューチャードリームス/福島レッドホープス/武蔵ヒートベアーズ/NTT 西日本/法政大学



■外野手 ボナール ゆうや (ぼなーる ゆうや)

登録者数10万人を超える YouTube チャンネル「ぼなーるちゃんねる」